

都市交通政策におけるビジョンの構成と記述内容

秋田大学大学院 学生会員 ○佐々木 善和
秋田大学 正 会 員 木村 一裕
秋田大学 正 会 員 日野 智

1. はじめに

成熟型社会である現代では、都市交通政策のあり方を今一度見直し、都市の現状に対応した総合的な都市交通体系を構築する必要性が生じている。

計画には、目指すべきビジョンが必要となる。ただ事業を行うのではなく、その事業が都市交通政策のビジョンに明確に位置付けられることが大切である。

本研究では、都市交通政策の計画に対し、ビジョンを持つことの有用性として、ビジョンが目標、施策にどのように浸透し、影響を与えているのか分析し、ビジョンをもつことの意義を明らかにすること、ならびにビジョンを設定するプロセスに必要と考えられる問題認識の意義について明らかにすることを目的としている。

2. ビジョンを持つことの有用性について

(1)本研究での計画の構成図

計画の構成については、「基本方針」、「個別目標」などの用語の違いや、上位一下位概念の整合性が異なっているものが散見される。本研究では図 1 に示すような計画の流れと理念の流れの 2 つの構成から計画が作られると設定して分析を行った。

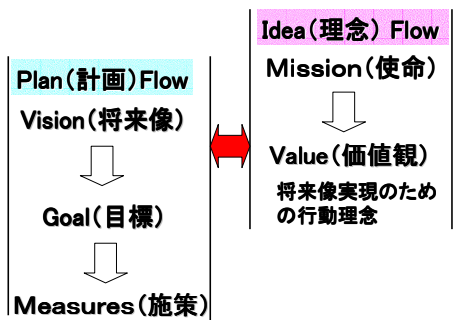


図 1 計画の構成図

ビジョンは、Plan Flowにおいて最上位に位置付けられ、計画の目指すべき将来像として、最も大切なものである。しかし、ビジョンは、概念的な表現なので、計画における記述からだけでは、計画において重要な役割を果たしているかは不明である。そのため、ビジョンー目標ー施

キーワード：都市交通政策、ビジョン、目標、施策、問題認識

連 絡 先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1 番 1 号 TEL：(018)-889-2368 FAX：(018)-889-2975

策の流れはより具体化される関係にあることから、この流れにおいて、目標、施策との関係を見ることで、ビジョンがどのように浸透しているかを明らかにする。

本研究では、全国の自治体における県庁所在地の 20 市で策定された総合交通計画を対象とした。

(2)目標レベルにおけるビジョンの浸透度

1)一般的なビジョンー目標関係

表 1 には一般的なビジョンー目標関係の事例を示す。

A、B 市とも、目標が具体的になっておらず、ビジョンをそれぞれ分割した内容になっている。

表 1 一般的なビジョンー目標関係

市	ビジョン	目標
A	誰もが快適に移動できる、安全に安心して暮らせるまち、魅力と活力のあふれるまち	a.誰もが使いやすい公共交通 b.安全に安心して暮らせるまちを支える交通 c.まちの魅力と活力を支える交通
B	人・地域・環境をつなぐ みんなにやさしい交通のまち・〇〇	a.人にやさしく、安全・安心な交通づくり b.生活に魅力を感じる交通づくり c.地域の活力を高める交通づくり d.環境に配慮した交通づくり

2)特徴の見られたビジョンー目標関係

表 2 には一般的なビジョンー目標関係の事例を示す。

ビジョン自体が多核連携型都市という独自のキーワードを作成し、a にそのキーワードが出ているが、b、c、d の記述は一般的といえるが、ビジョンを具体化する内容となっている。

表 2 特徴の見られたビジョンー目標関係

市	ビジョン	目標
C	田園に包まれた多核連携型都市ー〇〇らしいコンパクトなまちづくりー	a.多核連携型の都市構造を支える交通戦略 b.地域の快適な暮らしを支える交通戦略 c.市街地の賑わいと都市の活力を創出する交通戦略 d.地域や関係者が一丸となって取り組む交通戦略

(3)施策レベルにおけるビジョンの浸透度

1)一般的なビジョンー目標ー施策関係

表 3 には一般的なビジョンー目標ー施策の事例を示す。

D 市はビジョンの「快適な生活」という部分に寄与すると考えられる目標「高度な交通情報システムの構築」だが、施策において「公共交通情報の高度化」と施策レベルにおいて、具体性に欠ける表現となっている。

E 市も同様で、ビジョンと目標が関連しているが、施策に具体性が欠けている。

表 3 一般的なビジョンー目標ー施策関係

市	ビジョンー目標ー施策関係
D	ビジョン「まちの活力と快適な生活を支える〇〇の交通」ー目標「高度な交通情報システムの構築」ー施策「公共交通情報の高度化」
E	ビジョン「環境先進都市の形成に向け誰もが移動しやすい、多様な交通手段が使えるよう、人・まち・環境が調和した交通体系づくりを目指します」ー目標「人の動きを支える安全・安心な交通基盤(人)」ー施策「歩行者、自転車、自動車が共存し、安全を確保する道路づくり」

2)特徴の見られたビジョンー目標ー施策関係

表 4 に特徴の見られたビジョンー目標ー施策関係の事例を示す。

表 4 特徴の見られたビジョンー目標ー施策関係

市	ビジョンー目標ー施策関係
F	ビジョン「過度なマイカー利用から脱却することで、自動車に依存したまちから、歩行者と公共交通を優先する、人と人、心と心が通じ合うまちづくり」 目標「マイカーの流入抑制」 施策「まちなかは歩行者・公共交通優先であることの理念の明確化(条例化)」
G	ビジョン「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現する(クラスター型)」 目標「日常生活や都市活動を支える鉄軌道ネットワークの実現」 施策「LRTネットワークの形成」

F 市は、ビジョンもイメージしやすい表現となっており、目標の「マイカーの流入規制」も、ビジョンにおける「過度なマイカー利用からの脱却」に寄与するものであると考えられ、施策において、まちなかは歩行者・公共交通優先であることの理念の明確化のために条例を制定するなど独自のであり、ビジョンを実現するために本気になっていると考えられる。ビジョンが浸透している好例であると考えられる。

G 市は、ビジョンも表現が明快でクラスター型のコンパクトシティなど独自のであり、目標の「日常生活や都市活動を支える鉄軌道ネットワークの実現」はビジョンの「鉄軌道をはじめとする公共交通の活性化」に寄与するものと考えられる。施策は「LRT ネットワークの形成」という全国でも唯一の施策であり、LRT を軸として公共交通全体を活性化しコンパクトなまちづくりを実現することが、ビジョンー目標ー施策の流れから伝わってくる。

3. ビジョン設定と問題認識の関係について

ビジョンの設定の仕方によっては、何の変哲も無い、形式的なだけのものになってしまう。ビジョンを設定する過程において、市の都市交通政策にどんな課題があつて、何を解決したいのか、それがわかることでおのずと将来像、つまりビジョンは見えてくるものと思われる。つまり、問題認識がビジョン設定には重要なプロセスであると考えられる。

ここでは、都市交通政策の先進事例の問題認識について考察する。

表 5 に、一般的なビジョンー目標関係の事例を示す。

表 5 先進事例での問題認識

	問題認識
G	a.車を自由に使えない市民にとって極めて生活しづらい街、b.割高な都市管理の行政コスト、c.都心の空洞化による都市全体の活力低下と魅力の喪失
F	a.公共交通を有効に活用することの重要性の一層の高まり、b.非被災都市である金沢ではまちなかにおける道路容量等の拡大には限界がある、c.北陸新幹線での来街者はマイカーを利用せず公共交通で移動手段を確保する必要がある

G 市は、都市の拡散が進行した街には一般的といえる内容だが、c において、「都心は本市の顔となる空間であり、都市の個性を喪失してはこれからの都市間競争に勝てないこととなります。」という記述があることから、都市活性に対する強い意識が感じられる。これらの課題認識を背景として、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」をビジョンに設定している。

F 市は、b, c は地域独自の課題を明確に捉え、その対策を実行している。b による慢性的な渋滞の発生のため、約 20 年前から TDM 施策を実施したり、公共交通に関する条例を全国初で制定したりと、危機感は強く、さらにこの課題認識から、山側環状の開通により中心部でも自動車が通行しやすい状況になりつつあるものの、むしろ過度なマイカー利用から脱却することで、自動車に依存したまちから、歩行者と公共交通を優先する、人と人、心と心が通じ合うまちづくりを目指すという、さらに高みを目指すビジョンを掲げている。

4. まとめ

本研究では、ビジョンの有用性をビジョンの浸透性を見ることで明らかにし、明確なビジョンを持つことで、独自の施策や、具体性のもつ施策に結びつく可能性のあることが確認できた。また、先進事例において、ビジョン設定には、問題認識が影響しており、その意義を確認することができた。

ところで、施策に LRT を導入した都市では、市内に路面電車が残っていたこと、赤字鉄道路線の存続の危機など、公共交通を重視する施策に転換するための好条件があつたとしても、同条件で他都市が実現できたかといえばそうとはいえないと考えられる。そこには明確なビジョンが原動力となり、市民、ステークホルダー間の様々な要因が結びつき事業実施に至ったものと考えられる。

そのようなことから、今後の課題として、本研究のように文献調査のみの記述上からの分析だけでなく、実際に事業が実施され、どれだけの効果があつたかをインタビュー調査などにより明らかにし、その実態とビジョン設定との関連性を明らかにする必要があると考えられる。